

新年明けましておめでとうございます。

令和七年は「昭和百年」に当たり、「終戦八十年」の記念すべき年になります。明治元年（一八六八年）から、終戦まで随分長いようですが七十七年です。終戦後八十年は、その随分長い期間を越えるのです。

この八十年を、日本は自虐史観・他者依存体質・平和ボケという、人情や人の心を忘れ、カネの亡者のように有利不利・損得勘定で過ごして来ました。

米国のGHQが、日本の敗戦を機に、日本人の勇敢さや、純粹さ・粘り強さ、国体を思う気持ちをも根本的に解体し、二度と再び、白人に挑戦しないように、周到に準備したプログラムで洗脳しました。これを「WGIP」といいます。

米国は、最大の国際法違反である戦争犯罪をしました。二種類（ウランニウム・プルトニウム）の原爆で長崎と広島は無辜の国民二十万人以上を一瞬で犠牲にしました。これが大虐殺でなくて何とこのでしょう。東京や大阪・名古屋などの大都市に、焼夷弾を中心地の周辺に落とし、逃げ惑う国民を絨毯爆撃したのです。

片や、有りもしない「南京大虐殺」や、「従軍慰安婦」を、でっちあげ、戦後の日本人の誇りや自信までも壊滅させたのです。

我々の父祖は、国に騙されて無謀な戦争を戦ったのでしょうか。正気を無くしていたのでしょうか。決して、そうではありません。

もう、何が真実か白日の下に検証しても良いのではないのでしょうか。

もう、本当のことを、真実を語っていいではないのでしょうか。

米国が悪かった、戦勝国が悪かったという憎悪の念や復讐心を取り戻し、日本人が日本人としての、惻隱の情・謙讓の美德・寛容な心を取り戻し、日本を再び世界に誇る国にするスタートの年にして参りましょう。

具体的には、日本の祝日を日本の公称に戻すことから始めましょう。

建国記念日は「紀元節」に、文化の日は「明治節」に、勤労感謝の日は「新嘗祭」に戻すだけで、日本の皇室の尊さ「国体」の重さが解ります。

また、八月十五日は、今上陛下に「靖国神社」ご参拝頂くことで、世界は日本を世界のリーダーに相応しい国と敬意を持って認めることでしょう。

我々、日本の中小企業の社長は、それぞれの地域で、それぞれの業界で、それぞれの立場で、本業に励み、同時に「足もとのゴミ一つ」を拾う下座業を徹底して参りましょう。令和七年は、そういう重要な年であり、将来への希望の年なのです。

今月のポイント

二〇五〇年に向けて

日本を取り戻しましょう

